

基本テーマ

・ 第四回東方経済フォーラムの日取りが確かめられた

・ 日本の安倍晋三首相は SPIEF 2018 と EEF 2018 を訪れる

・ 四年間半に極東地域に 3兆7000億ルーブルが誘致



極東経済フォーラムのニュース

2018年3月6日、RIA ノーボスチ

ガルシカ氏: EEF は極東にとって段々と重要度を増していく

東方経済フォーラムは、国際共同体が極東に寄せている高い関心を確認したと極東発展大臣が3月6日開催された会計年度を締めくくる同省の幹部会会議で強調した。大臣によると、極東での改革は、対外パートナーの官民とも話題にあげるようになった。

<https://ria.ru/economy/20180306/1515819602.html>

2018年3月5日、タス通信社

第四回東方経済フォーラムの日取りが確かめられた

東方経済フォーラムはウラジオストク市で9月11～13日開催される。以前はイベントを2018年9月6～7日に開催する予定だった。アントン・コビャコフロシア大統領顧問によると、フォーラム日取り修正の原因は、各国首脳が参加する国際イベントの日程との調整だった。

現在、EEF ビジネスプログラムは作成中で、従来どおりその重点を分野別の方向性および投資におくが、2018年はプログラムでヒューマンキャピタルをより重視する予定。

<http://tass.ru/ekonomika/5007804>

2018年2月21日、「コムソモリスカヤ・プラウダ」紙

日本の安倍晋三首相は SPIEF 2018 と EEF 2018 を訪れる

モスクワでアントン・コビャコフロシア連邦大統領顧問と上月豊久駐露特命全権日本国大使が会い、双方はまず、安倍信三総理大臣の SPEF 2018 および EEF 2018 参加の文脈において、露日経済協力の展望について意見交換を行った。

上月大使は、日本の代表団がフォーラムを訪れると指摘した。他の参加者に加え、ロシア NIS 貿易会 (ROTOBO) および日本貿易振興機構 (JETRO) はその団員になる。

<https://www.kp.ru/daily/26797/3832791>

2018年2月9日、「OTV-Prim」通信社

中国政府はウラジオストクのEEFに参加したい実業家を奨励する

露中地域間協力年開会式で中国政府は自国の実業家をEEF 2018に参加するよう呼びかけた。ハルビン市で開催された式典にユーリ・トルトネフと汪洋中華人民共和国国務院副総理が参加し、汪洋副総理はロシアの企業を今年上海で開催される第一回中国国際輸入見本市に紹介した。

otvprim.ru/economics/primorskij-kraj_09.02.2018

極東における国家政策

2018年2月22日、インテルファクス通信社

2018年電子ビザを取得して極東連邦管区のさらに5地方に入国できる

2018年に電子ビザ制度を、ウラジオストクのクネヴィチ空港以外、エリゾヴォ（ペトロパブロフスク・カムチャツキー）、イグナチエヴォ（ブラゴヴェシチェンスク）、ノヴィイ（ハバロフスク）、ホムトヴォ（ユジノサハリンスク）、ウゴリヌイ（アナドゥイリ）各空港に展開する予定。その結果、外国人を電子ビザで受け入れる極東地域の地方の数は6つになる。

外国人に簡易ビザ制度を利用してロシア入国を可能にした連邦法は2017年8月1日に効力を有してきた。

2月5日現在、極東でほぼ8千のビザが18ヶ国の外国人に発行され、そのうち2千の手続きは今年行われた。電子ビザを利用して、14ヶ国の5100人以上が沿海地方に入れた。一番積極的な入国者になったのは中国人（3300人）と日本人（1600人）だ。

<http://tourism.interfax.ru/ru/news/articles/47358/>

2018年3月6日、RIA ノーボスチ

費用15億ドルの新しい先行発展区を露中国境線沿いに設立する見通し

ロシアと中国は、綏芬河市—ポグラニチニ国境検問所周辺に、投資総額15億ドルの越境先行発展区の新設を審議する。

同区は、面積413ヘクタール（ロシア領の233ヘクタールと中国領の180ヘクタール）の領域を統一させる計画。両国民、商品、サービスは区内に自由に移動する予定。先行発展区の露中レジデントは自分の商品を制限なく各国の市場に提供できるようになる。

<https://ria.ru/east/20180208/1514192322.html>

極東の経済

2018年3月6日、「ヴェスチ・経済」通信社

四年間半に極東地域に3兆7000億ルーブルが誘致

新しい経済政策のおかげで、1200件以上のイノベーションプロジェクトが届け出され、12万人分の新規雇用が創出されているとガルシカ極東発展大臣が会計年度を締めくくる同省の幹部会会議で述べた。

大臣によると、先行発展区、ウラジオストク自由港、インフラ整備による支援などのメカニズムのおかげで、極東地域においてロシア最大規模施設の建設が完成され、そのうちアムールガス加工工場、ズヴェズダ造船所、アムール州とユダヤ自治州における国境検問所などをあげられる。

<https://www.vestifinance.ru/articles/98570>

2018年2月27日、タス通信社

ウラジオストク市の新しい都市づくり総合計画のおかげで、総額約230億ルーブルのプロジェクトを実現できる

総合計画見直しのおかげで、ウラジオストク自由港のレジデントは、物流インフラの整備、新しい住宅、スポーツや観光のインフラ、建材製造、栽培漁業施設建設の投資プロジェクト37件を実施できる。本プロジェクトの宣された投資額は228億ルーブルで、1077人分の新規作用が創出される見込み。

<http://tass.ru/v-strane/4990025>

2018年2月15日、RBC通信社

ノヴァテック社はカムチャツカ半島で新しいLNGターミナル建設に15億ドルまで拠出

カムチャツカのLNG積み替えターミナルの立地を数ヶ月以内に決める見込み。検討中の建設場所は、ベチエヴィンスカヤ湾とアヴァチンスカヤ入江だ。積み替え総合施設設計の際専門家は、施設を地震から守るため領域の耐震性能を必ず評価する。

ノヴァテック社は、カムチャツカのターミナル建設が2023年に完成し、燃料360立方メートルを収用できる、ロシアにとってユニークなな貯蔵槽を製造する予定。

<https://www.rbc.ru/rbcfreenews/5a8562509a794723e13978b7>

2018年2月4日、タス通信社

日本はロシア連邦にウラジオストク市インフラ近代化計画を提案する

日本政府は、ロシアに交通運行改善、観光施設および鉄道駅周辺領域整備などを含むウラジオストク市インフラ近代化計画を提案する予定。計画は安倍総理の5月ロシア訪問あけに準備され、近いうちにロシア側に手渡される。

<http://tass.ru/ekonomika/4928241>

極東発展の新メカニズム: 成功の実例成功の実例

2018年2月1日、タス通信社

「極東1ヘクタール」取得申請書を約11万人のロシア人が提出

10万9400人のロシア人は、「極東1ヘクタール」取得を申し込み、そのうち3万5千人以上がそのプログラムにより土地をすでに取得してきた。申請書を出すのは、主として極東地域の住民で、提供された土地数で現在リードするのは沿海とハバロフスク両地方だ。「極東1ヘクタール」プログラムはロシアのすべての住民に面積1ヘクタール未満の土地を無償で取得する権利を与える。

<http://tass.ru/obschestvo/4920468>